

管 内 概 況

1 地 勢

県の東部、千曲川中流部に位置し、上田市、東御市、長和町及び青木村の4市町村からなり、面積は905.37 km²で、県総面積の6.7%を占めている。

地形は、千曲川右岸は、烏帽子火山の流出で緩傾斜をなし、左岸西部は、平坦地で塩田平と呼ばれ、南部の依田窪地域は、和田峠に源を発する依田川の流域に存している。

2 人 口

令和6年4月1日現在、管内の人口は188,729人で、県総人口の9.5%を占めている。

令和2年国勢調査時と比較すると2.7%の減少となっており、市町村別では、上田市は2.4%減、東御市は2.9%減、長和町は6.4%減、青木村は5.3%減となっている。

また、老年人口割合は32.5%と、県平均33.1%を僅かに下回っているが、全県の状況と同様に上昇傾向を示している。特に、町村部においては43.4%と高齢化が進行している。

3 交 通

管内を北西方向に流れる千曲川にほぼ並行して上信越自動車道、北陸新幹線、しなの鉄道及び国道18号があり、沿線に市街地・商工業地帯を形成するとともに、長野地域と佐久地域や首都圏を結ぶ重要な交通網が構成されている。さらに、千曲川の西側に広がる塩田平には上田電鉄別所線が通っている。

現在、次世代の広域交通圏を担う上信自動車道などの高規格道路の計画推進と、それを補完する道路として位置付けられる国道144号上野バイパス、国道143号青木峠バイパス等の整備や、地域の生活を担う国道254号三才山トンネルへのアクセス強化、通学路等の交通安全対策推進事業(通学路合同点検箇所)などに取り組んでいる。

4 気 象

管内の平均年間降水量は1,000mm前後であり、年間を通じて降水量が少ないため、穀倉地帯である塩田平では、水不足を補うために、古来よりため池を造り、また、依田川・千曲川から大規模な取水を行い、かんがい用いている。

気候は、夏冬、昼夜の寒暖の差が大きい典型的な内陸性気候である。

5 産 業

新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に移行し、社会経済活動の正常化が進む一方で、円安の進行や物価の高騰、人手不足などにより、県内産業を取り巻く環境は厳しさを増しており、これを踏まえた経済対策が重要となっている。

農業は、少雨多照な気候条件と、標高420mから1300mの標高差を活かし、多様な作物が生産されている。農業経営体数は3,133(2020農林業センサス)で、5年前に比べ22.4%減少している。このため、管内の関係機関・団体が連携して新規就農者確保や就農後の支援に取り組むとともに、担い手への農地集積や果樹園地の継承、農地や農業水路等の保守・管理など、営農環境の整備を進めている。また、販売力の高い品目・品種への転換、連絡協議会等との連携による千曲川ワインバレー構想の推進に取り組んでいる。

林業は、県内有数のカラマツ産地であり、その多くが木材として利用可能な林齢を迎えていることから、「森林環境譲与税」や「長野県森林づくり県民税」等を活用し、主伐・再造林等による森林整備や地域材の利用促進、民間企業等との連携強化等を進め、地域林業の活性化や持続的な森林経営を図るとともに、森林の二酸化炭素吸収機能や木材の炭素固定機能の発揮によるゼロカーボンの推進に取り組んでいる。

商業は、上田市、東御市を中心に商圈が形成されている。令和3年度の商圈調査によると、上田市(合併前)の吸引力係数は137.5%と全県で第4位となっており、上田地域の商業の中心となっている。しかしながら、上田地域から他地域への流出により、近年の商圈人口は減少しているほか、買い物客の大型店志向により、中心市街地の商店は厳しい状況にある。

工業は、電気や輸送用機械器具製造業を中心に加工組立型企業が多く集積している。管内には、信州大学繊維学部を始め、公益財団法人長野県産業振興機構上田センターや一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター(AREC)等が所在し、これらの機関が相互に連携を図りながら、企業の新技術・新商品開発や今後成長が期待される分野への事業展開を支援している。

観光は、国宝や重要文化財など名所・旧跡が数多く残るほか、高原や温泉地など多彩で魅力的な観光資源を有しているが、近年は観光地利用者数及び消費額が減少傾向となっている。特に令和2、3年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和元年と比較してほぼ半減となった。しかしながら、令和5年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に移行され、社会生活における行動制限が廃止されたことなどから、令和5年の観光地利用者数については令和元年の約9割まで、また、消費額については令和元年の水準まで回復している。

面積、人口等

(令和6年4月1日現在)

市町村名	面積	世帯数	人口			老年人口割合	人口密度(1k㎡当たり)	1世帯当たり人口	2年国調人口対比
			計	男	女				
上田市	552.04	65,972	150,331	73,674	76,657	31.8	272.32	2.28	97.6
東御市	112.37	11,548	29,255	14,421	14,834	32.5	260.35	2.53	97.1
長和町	183.86	2,286	5,241	2,625	2,616	44.9	28.51	2.29	93.6
青木村	57.10	1,547	3,902	1,892	2,010	41.3	68.34	2.52	94.7
計(A)	905.37	81,353	188,729	92,612	96,117	32.5	208.46	2.32	97.3
県計(B)	13,561.56	850,398	1,991,977	974,906	1,017,071	33.1	146.88	2.34	97.3
(A)/(B)%	6.7	9.6	9.5	9.5	9.5				

(注) 面積は、国土地理院による(R6.1.1現在) 世帯数・人口は、毎月人口異動調査による(R6.4.1現在)